

2022年11月14日
アグリビジネス投資育成株式会社

炎重工株式会社への出資について

～自動化技術普及による持続可能な水産業や地域活性化に向けた取り組み支援～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役：松本恭幸）は、このたび、「食糧生産を自動化して世界の飢えを解決する」とのビジョンを掲げ、「制御技術」をコアとした自動化製品、サービス開発を手掛ける炎重工株式会社（代表取締役：古澤 洋将）に対して、出資しましたのでお知らせいたします。

炎重工株式会社（以下、「炎重工」）は、ロボットスーツ開発を手掛けた古澤氏が東日本大震災からの復興と次世代産業の創出を目的に、出身地である岩手県滝沢市に創業しました。

高齢化の進展で国内水産業の担い手不足が社会課題となる中で、その課題解決として水上ロボット「Marine Drone」の開発や、生体群制御による活魚の移動の遠隔操作の実現等、水産業（一次産業）の自動化に向けて事業を展開しております。

特に、炎重工が開発を手掛ける Marine Drone の用途は幅広く、警備・密漁対策、自動給餌、物流・輸送、海鳥対策、救助、清掃、測量、工事、レジャー、交通手段、災害対策等、水産業に限定した用途だけでなく、水上における様々なシーンでの活用が見込まれております。

炎重工では、今般、調達した資金にて、開発した Marine Drone や生体群制御の社会実装化を推進し、水産業の担い手不足の解消、労働負荷軽減、安全対策、資源保護等への貢献していく他、水産業以外でも臨海エリアの社会課題の解決や地域活性化等、持続可能な社会の実現にむけて取り組むとともに、岩手県を中心とした東北地方における次世代産業の創出を目指していく方針です。

○アグリビジネス投資育成株式会社について

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に基づき 2002 年 10 月に設立され、農業法人の財務、経営、事業を支援すべく、600 社

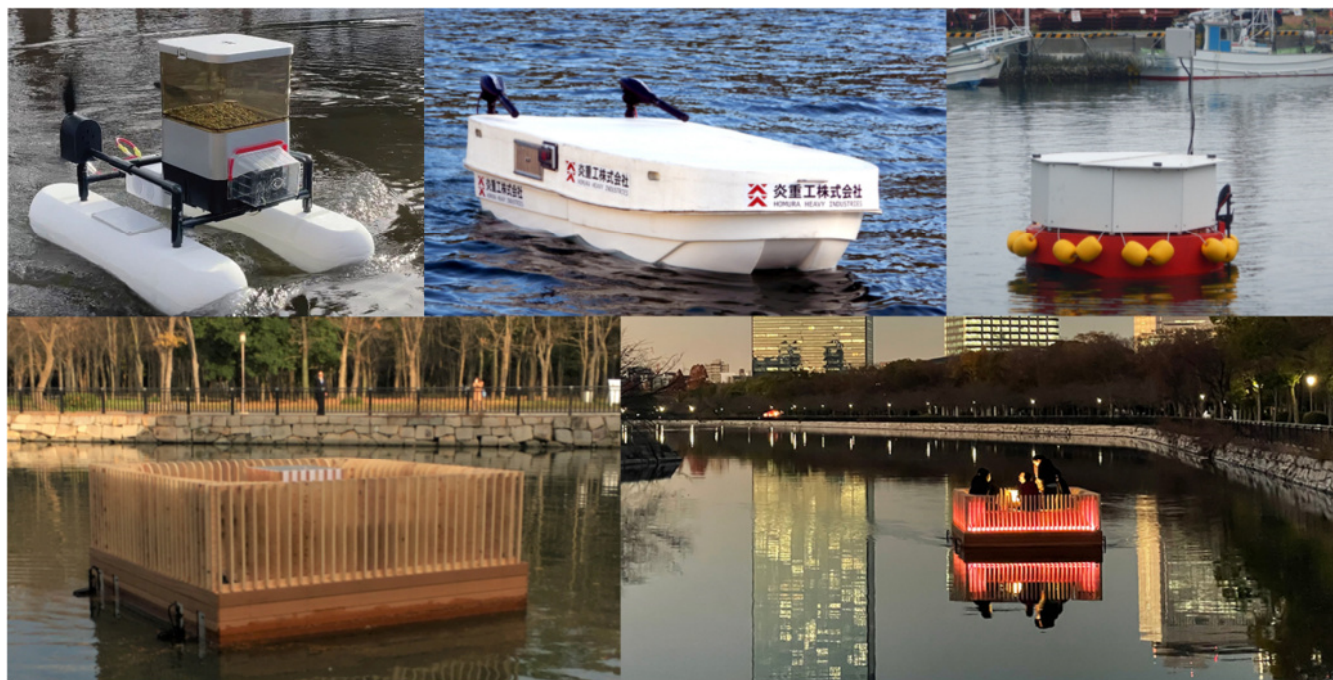


を超える出資とその後の育成事業を行って参りました。2022年2月には法改正※がなされ、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、新たに投資対象として漁業・林業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業が加わり、地域の主力産業である農林水産業者やそれらに関わる新しいビジネスの創出や新たなバリューチェーンの構築・改善等に取り組む事業者に対する支援を開始しております。

炎重工の事業は、農林水産業の自動化による持続可能な社会の実現に取り組むものであり、弊社の活動方針に合致しており、また、創業者である古澤氏や炎重工の関係者の方々の農林水産業へ対する想いやビジョン、それを実現するための実行力等を評価し、弊社として出資を決定いたしました。本件出資後におきましても、弊社の既存投資先や株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫を始めとした系統組織等のネットワークを活用し、炎重工の事業を全面的にサポートし、ひいては国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展に貢献するよう取り組んでまいります。

引き続き、弊社は、環境・社会課題の解決に貢献し、SDGsの実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

※法改正後は、「農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法」という名称に変更されております。



(写真提供：炎重工(株))

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL : 03-5577-6377